

⑦ 知的障害者の保健衛生・看護

課題

あなたが支援員として実際に行っているスタンダードプリコーションはどのようなこと述べなさい。

スタンダードプリコーションとは、感染症に対する標準予防策であり、すべての人が感染源になりうるという考えのもと、体液などを感染物として取り扱い、確定診断がなくても感染予防策を講じ、感染症の発生を抑制するという考え方である。すべての人の血液、汗以外の体液、排泄物、傷のある皮膚、粘膜を感染性があるものとして共通の配慮をもって対応する。

具体的な方法として

- ①一利用者、一处置ごとの手洗いの励行
- ②利用者の体液に触れる可能性のある場合、適切なマスク・ゴーグルの着用、ガウンテクニックの実施
- ③器具の適切な取り扱い
- ④リネン類の適切な取り扱い
- ⑤環境整備
- ⑥必要な場合の隔離

などが挙げられる。

私が当施設に勤め2年が経過したが、その間にもノロウイルス、アストロウイルス、疥癬、蟻虫など多数の感染症が発生した。入所施設のような集団生活では、感染症がひとたび発生すれば、次々と感染拡大してしまう危険性が非常に高い。利用者の障害特性もあり、嘔吐しながらでも食べ続けたり、症状を上手に表現できなかったり、十分に自己予防することも難しい。疥癬が流行した時は、近隣の中核病院の皮膚科へ数名ず

つ通院介助したが、ヒゼンダニがなかなか検鏡されず、確定診断を受けた時点では、入所者の大多数に感染が拡大するという経験もした。その際に痛感したのは、知的障害者が気軽に通院できる専門病院の少なさと、それ故に常に利用者の状態を細やかな観察から感染を早期発見し、適切な対応に努め感染を拡大させないこと、そのためには私たち看護師の役割は重要だということである。

障害特性のため、利用者本人は十分な自己防衛はできないため、私たち職員のスタンダードプリコーションの技術は重要である。新しく入職した職員に対して、看護師から感染症に関する研修を実施し、手洗いやガウンテクニック、汚物・吐物の処理方法を説明している。また、汚物・吐物の処理方法については、感染性胃腸炎の流行時期に備え、毎年11月頃にスキルの再点検のために、職員全体で振り返り研修を実施している。ノロウイルスが流行した際、あっという間に施設内全体に感染が拡大し対応に追われた。感染症がアウトブレイクすると、職員も疲弊し、新たな感染や事故も起きかねないような殺伐とした雰囲気になってしまう。その教訓を生かし、感染対策マニュアルを見直し、5W1Hの視点で具体的な内容に再検討した。また嘔吐にもすぐに対処できるように、物品をひとまとめにして準備するようにした。

施設内に感染対策委員会が立ち上がり、各職種間での感染予防についての対応方法も検討を行うようになった。委員会は毎月定期的開催され、感染予防に関する目標を一つ掲げ、職員間で取り組むようになった。「換気をしよう」「おやつの前にも手を洗おう」などの細かな目標を一つずつ積み重ねることで、職員の感染症に対する意識の向上につながることを期待したい。

先日、感染症認定看護師を講師として招き、感染症の勉強会と施設内環境のラウンドを実施していただいた。近隣の福祉施設にも声をかけ、支援員、看護師、栄養士など様々な職種の方々20名以上も参加していただいた。施設ラウンドでは、清掃の不十分な排気口の黒カビや、入浴介助で使用する長靴の洗浄、パソコンのキーボードや受話器の清拭等、普段行き届いていない部分の指摘をしていただいた。勉強会はあらかじめ参加者から質問を受付け、それに対して講師が資料を作成するQ&A方式の内容と、ガウンテクニックや汚物の処理法などデモンストレーションの2本立てで進められた。改めてガウンテクニックなどを見直すと、私自身も不確実な

部分が再確認でき、今後は手洗いや環境整備などについても職員個々のスキル再確認の必要性も感じられた。

今回の講師は在勤地区で病院・介護施設・福祉施設・保育所などの様々な施設の感染予防に関するネットワークを構築されている。当施設は市街地から離れ、今まで近隣施設と情報を共有することはあまりなく、講演内容はとても魅力的であった。感染症が発生した時、施設内の医療職として現場で無我夢中で職務に当たるが、感染症を発生させない方法はなかったのか、対応方法は最善であったらうかと、悩み後悔することばかりである。不安や疑問を分かち合い、また情報を共有することで、職員が安心して職務にあたることができ、利用者により安全な生活を提供できるのではないかと思う。今後は地域施設の連携にも取り組んで行きたい。

講評：

知的障害のある方が利用されている事業所で働くナースとしての資質全てを兼ね備えております。ひとたび、事業所で感染症が発生すると職員も巻き込まれ、地獄絵図のような日々の連続を私も経験しました。予防対策の勉強会内容、実技を含め効果的でスタッフのモチベーションも大きくアップしたことと思います。更なるご活躍を期待いたします。